

II 施策・事務事業評価一覧表

施策評価				事務事業評価							
A: 計画目標に向けて順調に推移 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている B: 計画目標に向けて概ね順調 D: 計画目標に向けて進捗は遅れている				A: 現状のまま継続 C: 規模・内容を見直し B: 進め方を改善 D: 抜本的な見直し(廃止・縮小)							
区分	No	施策の名称・内容	評価の区分	評価の内容	No	担当課	事務事業の名称・内容	評価の区分	評価の内容		
I	1	【施策の名称】広報・広聴活動の充実と情報公開 【施策の内容】市民に公平・公正な行政情報を提供したり、情報を公開することにより市政の透明性を図るとともに市民の知る権利を保障する。また、市民から行政に対する意見を聞く機会を設け、開かれた市政の実現を図る。	1次評価	B	広報業務として効率性が課題。広聴業務の懇談会などは、若い方の参加が少ないため、あらゆる世代の参加となっていないのが課題。パブリック・コメントは、平成25年1月からFM放送を活用した意見募集を追加するなどの取り組みにより、徐々に制度への理解が広がっている。	1	企画課	【事務事業の名称】広報広聴事業 【事務事業の内容】市民に透明性が高く公平・公正な行政情報を提供する。	1次評価	B	公正・公平な情報の提供を行う手段として継続する必要があるが、効率面において改善が考えられる。
			外部評価	—	—				—		
			2次評価	—	今後あらゆる媒体を活用した広報推進に努めるとともに、市民によるまちづくりの推進に努める必要がある。				2次評価	B	あらゆる媒体による広報を実施してきており、今後においてもさらなる充実を図っていく必要がある。
	2	【施策の名称】財政運営の効率化 【施策の内容】市税徴収率の向上や、遊休資産の売却、財務諸表の作成、総合計画ローリングを反映させた中期財政計画の策定、情報開示など。	1次評価	B	収納率は他市町村に比較し良好です。遊休地処分については、宅地用のみならず、市が所有する広大地の情報も提供し、さらに処分を進めることが必要です。他の指標は達成しているため、概ね順調としました。	1	企画課	【事務事業の名称】名寄市の統計の作成 【事務事業の内容】人口、経済、産業、社会、教育、文化等あらゆる分野にわたり、市の現況と発展の推移をあきらかにする基本的な資料を公開する。	1次評価	A	掲載の見直しを行うなど、利活用について検討の必要があるが、冊子の規格、発行部数は現状で適正と判断する。市民、事業者に対して、市の現況と発展の推移を公表する、行政施策を企画、立案する際の客観的な指標として役立てる、市民事業者等の調査研究に寄与する点から、今後必要とされる事業であると考えられるため、より見やすく、分かりやすい構成とすること、より必要とされるデータの掲載につとめていく。
			外部評価	—	—				外部評価	—	—
	2次評価	A	市民税の適正徴収のため様々な対策を講じ、収納率は全道都市トップクラスとなっている。また、遊休公有地についてはインターネット公売を活用するなど処分に努めている。実質公債費比率は全国平均値を上回っているが、年々改善を進めてきており、減債基金については、合併算定替終了を視野に入れ、積立額を増額してきている。これらの取組みを継続する必要があり、A評価とする。	2次評価	A	今後においても必要とされる事業であり、さらなる充実に努めていく必要がある。					
	3	【施策の名称】職員の適正配置と計画的な定員管理 【施策の内容】「新・名寄市行政改革推進計画」と定員適正化計画に基づき、適正な職員の配置と簡素で効率的な組織づくりを行うため、組織機構の見直し等を行いながら人員削減を行う。	1次評価	A	市民サービスの向上を考えながら組織のスリム化を進めてきており、人員削減目標に向けて順調に推移してきている。	1	総務課	該当事業なし	—	—	—
			外部評価	—	人員削減の中、選抜された優秀な人材が市役所に集まっている。さらなる意識改革を進め、有効な人材活用を図られたい。				—	—	—
			2次評価	—	市民サービスの向上を考えながら組織のスリム化を進めてきており、人員削減目標に向けて順調に推移してきている。				—	—	—
	4	【施策の名称】民間活力の活用 【施策の内容】民間に公の施設の管理運営を委ねることで、民間のノウハウを活用して住民サービスの向上と経費の節減を図るため、指定管理者制度を導入。	1次評価	B	来客者へ創意工夫を凝らしたサービスを提供するなど、民間のノウハウを生かした取り組みを実践している施設が多く、安全管理上の問題もないため、概ね順調と判断した。	1	総務課	該当事業なし	—	—	—
			外部評価	—	—				—	—	—
			2次評価	—	今後も行政と民間で協働しサービスの向上に努めていく。				—	—	—
	5	【施策の名称】わかりやすい市役所づくり 【施策の内容】事務手続きの簡素化や利便性を図り、市民の皆さんに親しんでいただけるような、わかりやすい行政サービスの推進を図る。また、名寄・風連両庁舎のバリアフリー化などを進め、安全で利用しやすい市役所の整備を推進する。	1次評価	B	総合窓口の設置等来客者へのサービスの向上が進められたものと思われ、また、現下の厳しい財政状況の中、国の補助事業等を活用して施設整備も進められたことから、概ね順調と判断した。	1	総務課	【事務事業の名称】智恵文支所施設整備事業 【事務事業の内容】施設の延命を図ると共に利用者の増員及び快適な環境を提供する。	—	—	評価対象外／維持補修の事業
			外部評価	—	庁舎は老朽化しており、わかりづらい構造でありながらも、総合窓口によるサービス向上など、わかりやすい市役所づくりの成果が見られる。				—	—	—
			2次評価	—	庁舎は老朽化しており更新には課題があるが、総合窓口などソフト面の改善について効果が表れている。今後、さらなる職員の資質向上などを含め、市民サービス向上に努めていく。				2	総務課	【事務事業の名称】総合窓口の配置 【事務事業の内容】名寄庁舎1階市民課窓口前に総合窓口として案内員を配置し、市民課窓口事務手続きを支援するとともに、担当部局への誘導等来客者にきめの細かいサービスを行う。
外部評価	A	一次評価のとおり	外部評価	A	一次評価のとおり						
2次評価	A	市民の利便性向上につながっており、今後も継続する必要がある。	2次評価	A	市民の利便性向上につながっており、今後も継続する必要がある。						

区分	No	施策の名称・内容	評価の区分	評価の内容	No	担当課	事務事業の名称・内容	評価の区分	評価の内容			
II	6	市立病院 【施策の名称】地域医療機関相互の連携強化 【施策の内容】地域医療の充実のため、限られた医療資源を最大限活用し、地方・地域センター病院である名寄市立総合病院と、プライマリケアを担う国保診療所や開業医とが役割分担を行いながら病診連携、大型医療機器の共同利用等を進め、市民並びに圏域住民の命と暮らしを守る。	1次評価	B	市立病院においても、医師確保が十分でないことから、医師派遣等の事業が、地域の病院・診療所の要望に応えていない部分がある。	1	市立病院 【事務事業の名称】道北北部連携ネットワークシステム整備事業 【事務事業の内容】道北北部の4基幹病院の診療データの相互連携と救急トリアージ連携を基本として、さらに4病院からそれぞれの地域の医療機関とのネットワークを広げることにより情報の共有化と患者サービスの向上を図る。	1次評価	A	ネットワーク機器の設置が完了し、稼働開始している。4基幹病院それぞれの地域の医療機関を連携病院として登録拡大していく。		
			外部評価	—	一次評価のとおり			外部評価	A	大変良い事業であるが、現在、6か月以上の再診予約については出来ない状況である。他の病院では1年間まで予約できる場所もあり、地方からくる患者さんも多いので6か月以降先についても予約が出来るように検討してほしい。		
			2次評価	A	道北地方における医師不足はあるものの、センター病院である市立病院と、プライマリケアを担う国保診療所、開業医とは、役割分担を行いながら病診連携を進めている。医師派遣事業等で課題はあるものの、医療機関相互の連携強化は着実に進展していることから、評価はAとする。			2次評価	A	ネットワークが確立・稼働しており、道北北部の4基幹病院の診療データの相互連携と救急トリアージ連携を行っている。今後は地域医療機関を連携病院とする登録の拡大を図る。		
	7	市立病院 【施策の名称】診療基盤と経営基盤の強化 【施策の内容】市民がいつでも安心して適切な医療を受けられるための、診療体制や診療基盤の整備拡充に努める。	1次評価	A	診療施設の更新、改善や医療機器の整備は、収入増加と経費節減とのバランスを取りながら、効率的に実施することに配慮して進めている。	1	市立病院 【事務事業の名称】市立総合病院医療機器整備事業(高度一般機器更新整備) 【事務事業の内容】的確な診療を行うための医療機器の更新整備を図る。	1次評価	A	適切な整備を引き続き行うことが必要と考える。		
			外部評価	—	一次評価のとおり			外部評価	A	一次評価のとおり		
			2次評価	—	市立総合病院、風連国保診療所、名寄東病院、それぞれが高度医療、地域医療の拠点として必要不可欠な施設であり、今後も適切な医療環境の整備に努める。			2次評価	A	救急医療から高度医療まで、質の高い医療を確保するため適正な整備を行っており、必要な事業。		
			2	市立病院 【事務事業の名称】市立総合病院施設整備事業 【事務事業の内容】診療スペース・病室等の設備整備・修繕。	1次評価	A	適切な整備を引き続き行うことが必要と考える。	2	市立病院 【事務事業の名称】市立総合病院施設整備事業 【事務事業の内容】診療スペース・病室等の設備整備・修繕。	1次評価	A	適切な整備を引き続き行うことが必要と考える。
					外部評価	A	一次評価のとおり			外部評価	A	一次評価のとおり
					2次評価	A	適正な整備のため、今後も推進していく必要がある。			2次評価	A	適正な整備のため、今後も推進していく必要がある。
			3	市立病院 【事務事業の名称】市立総合病院精神科病棟改築整備事業 【事務事業の内容】老朽化した精神科病棟の改築、ヘリポートの整備。	1次評価	A	H26年度春の竣工を目指し、工事進行中。	3	市立病院 【事務事業の名称】市立総合病院精神科病棟改築整備事業 【事務事業の内容】老朽化した精神科病棟の改築、ヘリポートの整備。	1次評価	A	H26年度春の竣工を目指し、工事進行中。
					外部評価	A	一次評価のとおり			外部評価	A	一次評価のとおり
			4	風連国保診療所 【事務事業の名称】風連国民健康保険診療所整備事業 【事務事業の内容】医療機器の整備。	1次評価	A	道北における精神科医療の拠点として適正な整備を進める。	4	風連国保診療所 【事務事業の名称】風連国民健康保険診療所整備事業 【事務事業の内容】医療機器の整備。	1次評価	A	一次医療や予防医療に必要な機器の更新や新規購入を行っているが、市民の医療ニーズに対応するための見直しを検討する。
外部評価					A	一次評価のとおり	外部評価			A	一次評価のとおり	
5			風連国保診療所 【事務事業の名称】風連国民健康保険診療所の運営 【事務事業の内容】地域医療の充実とプライマリケア(初期診断・治療・健康管理)を担う診療所として幅広い医療サービスを提供。	1次評価	A	地域におけるプライマリケアを担う一次医療の診療所として、高齢化の進行により予想される在宅医療・緩和ケアの対応に必要な不可欠であり、今後も継続性が重要です。	5	風連国保診療所 【事務事業の名称】風連国民健康保険診療所の運営 【事務事業の内容】地域医療の充実とプライマリケア(初期診断・治療・健康管理)を担う診療所として幅広い医療サービスを提供。	1次評価	A	地域におけるプライマリケアを担う一次医療の診療所として、高齢化の進行により予想される在宅医療・緩和ケアの対応に必要な不可欠であり、今後も継続性が重要です。	
				外部評価	A	一次評価のとおり			外部評価	A	一次評価のとおり	
6	高齢福祉課 【事務事業の名称】名寄東病院の運営 【事務事業の内容】上川北部医師会を指定管理者として内科、リハビリテーション科の医療サービスを提供する。	1次評価	A	当面、高齢者人口も増加が予測され医療依存度が高い患者への療養施設としての使命があると考えます。	6	高齢福祉課 【事務事業の名称】名寄東病院の運営 【事務事業の内容】上川北部医師会を指定管理者として内科、リハビリテーション科の医療サービスを提供する。	1次評価	A	当面、高齢者人口も増加が予測され医療依存度が高い患者への療養施設としての使命があると考えます。			
		外部評価	A	一次評価のとおり			外部評価	A	一次評価のとおり			
8	健康福祉部 【施策の名称】障がい児福祉の充実 【施策の内容】発達の違いや、障がいを持つ児童のハンディの軽減・改善を図るため、関係機関と連携し、早期発見・早期療育の取り組みを行っている。	1次評価	A	指導員も研修や経験を重ね、質の良い療育を提供できている。今後も児童の成長のお手伝いができる環境を整備し、利用者へ還元していく。	1	子ども未来課 【事務事業の名称】母子通園運営事業 【事務事業の内容】発達に不安を抱えるお子さんをお持ちの保護者の相談窓口として、発達の遅いお子さんの療育を行い、成長の手助けをする専門機関として運営。	1次評価	A	今後も継続の必要な事業である。			
		外部評価	—	—			外部評価	—	—			
		2次評価	—	指導員は研修や経験を重ね、質の良い療育を提供できている。今後も療育が必要な児童の成長を支援することができる環境整備に努める。			2次評価	A	今後も必要な事業であり、継続した取り組みを進める。			
9	健康福祉部 【施策の名称】推進体制の充実 【施策の内容】市民一人ひとりがお互いに支えあう福祉社会を目指し、社会福祉協議会などで実施する福祉活動の育成・支援に努め、地域福祉推進体制の充実を図る。	1次評価	A	地域福祉計画に基づき、福祉のまちづくりを推進するため社会福祉協議会の運営などに対し支援しています。総合福祉センターについては、数多くの福祉団体等の利用により順調に推移しています。	1	社会福祉課 【事務事業の名称】総合福祉センターの運営 【事務事業の内容】地域福祉活動の活動の拠点である総合福祉センターの運営の充実を図ることにより、各種団体への支援や育成を図る。	1次評価	A	今後も高齢者の人口増加が予測されることから、福祉活動の拠点施設として必要不可欠であり、今後も継続が必要です。			
		外部評価	—	—			外部評価	—	—			
		2次評価	—	地域福祉推進のため、今後も継続した取り組みが必要。			2次評価	A	地域福祉活動の活動の拠点として、今後も事業の継続が必要。			
10	健康福祉部 【施策の名称】介護保険サービスの充実 【施策の内容】本市に住所を有する65歳以上の方または40歳から65歳未満の医療保険加入者が、加齢に伴う疾病等により要介護状態となり、日常生活に介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療等を必要とする方の尊厳を保持し、その有する能力に応じて日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うとともに必要な施策を講じる。	1次評価	A	3年ごとに策定される高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画に沿って効率的に進めています。	1	高齢介護課 【事務事業の名称】介護保険 介護サービス事業 勘定・名寄 【事務事業の内容】介護保険の施設サービス、居宅サービスの提供(清峰園・楽々館・友遊館)。	1次評価	A	老人福祉法・介護保険法を具現化していく施設としては必要不可欠であり、かつ要介護高齢者のセーフティネットとしても今後も継続が必要。			
		外部評価	—	1次評価のとおり			外部評価	A	一次評価のとおり			
		2次評価	—	3年ごとに策定される高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画に沿って効率的な推進に努める。			2次評価	A	老人福祉法・介護保険法を具現化していく施設としては必要不可欠であり、かつ要介護高齢者のセーフティネットとしても今後も事業の継続が必要。			
2	高齢介護課 【事務事業の名称】介護保険 介護サービス事業 勘定・風連 【事務事業の内容】介護保険の施設サービス、居宅サービスの提供(しらかばハイソ・風連在宅デイサービスセンター)。	1次評価	A	老人福祉法・介護保険法を具現化していく施設としては必要不可欠であり、かつ要介護高齢者のセーフティネットとしても今後も継続が必要。	2	高齢介護課 【事務事業の名称】介護保険 介護サービス事業 勘定・風連 【事務事業の内容】介護保険の施設サービス、居宅サービスの提供(しらかばハイソ・風連在宅デイサービスセンター)。	1次評価	A	老人福祉法・介護保険法を具現化していく施設としては必要不可欠であり、かつ要介護高齢者のセーフティネットとしても今後も継続が必要。			
		外部評価	A	一次評価のとおり			外部評価	A	一次評価のとおり			
							2次評価	A	老人福祉法・介護保険法を具現化していく施設としては必要不可欠であり、かつ要介護高齢者のセーフティネットとしても今後も事業の継続が必要。			

区分	No	施策の名称・内容	評価の区分	評価の内容	No	担当課	事務事業の名称・内容	評価の区分	評価の内容
II	11	健康福祉部 【施策の名称】就労支援の充実 【施策の内容】障がい者が地域で安心して生活できる基盤を整備するとともに、就労の場の確保や、地域住民をはじめ企業、町内会などと協働して就労支援の充実を図る。	1次評価	A 名寄市障害者自立支援協議会に、専門部会を設け、市内の障がい者の福祉施設、ハローワーク、道北障害者就業・生活支援センターいきぬきなどが構成員となっており、若者の就労期の支援についても対応していくことが可能となり、順調に推移している。	1	社会福祉課	該当事業なし	—	—
			外部評価	—					
			2次評価	—					
				障がい者が地域の一員として共に生活していくことが出来る自立と共生の地域社会を実現するためには、職業の自立を進めることが重要であり、今後も継続した取り組みが必要。					
II	12	市民部 【施策の名称】国民健康保険事業の運営 【施策の内容】6,993人の被保険者が加入し、運営。疾病・出産・死亡の時に、それぞれ保険給付を行っている。	1次評価	B 名寄市国保運営協議会において適正に審議しています。	1	市民課	【事務事業の名称】名寄市国民健康保険事業安定化計画推進事業 【事務事業の内容】各種健診受診率向上により医療費適正化、国保経営基盤の安定を図る。	—	—
			外部評価	—					評価対象外／法律等により義務付け
			2次評価	—					
				国民健康保険事業は、保険税及び国庫支出金等の特定収入を財源として保険給付等の支出を行っています。従いまして、保険事業単体で収支を均衡させ、安定的な財政運営を行うことが求められています。しかし、国民健康保険制度は、被保険者の減少による税収の減少・高齢化の進行、医療費の増加など構造的な課題を抱えています。特に、保険事故の発生の未然防止や疾病の早期発見による重症化を防止し、被保険者の健康保持増進を図り、年々増加する医療給付の適正化を図る取組が求められています。					

区分	No	施策の名称・内容	評価の区分	評価の内容	No	担当課	事務事業の名称・内容	評価の区分	評価の内容	
Ⅲ	13	市民部 【施策の名称】3R運動の推進 【施策の内容】3R運動の推進により、市民と事業者が過剰包装の廃止、生ごみの堆肥化や製造・流通・消費の過程で見直しを行うことにより、ごみを「つぐらない」、「ださない」こと、また、資源を分別して排出することで、ごみ発生抑制と資源化を図る。	1次評価	A 奨励金に関しては実績値が年々増えており、各種団体にリサイクルの意識が根付いていることが理解できる。また、協力金についても達成率は90%を超えており、今後も周知をすることし目標に向けて順調に推移していると判断した。	1	環境生活課	【事務事業の名称】ごみ減量化推進事業 【事務事業の内容】営利を目的としない各種団体が資源の回収に対して奨励金を交付する。また、資源の回収を受け入れた業者に協力金を交付する。	1次評価	A ごみの減量化・リサイクルの推進は名寄市にとってはとても重要な課題である。ここ数年の目標は概ねクリアしており、本事業で高い効果が発揮されている。今後も継続していく必要があり、さらなる効果が期待できる。	
			外部評価	—				外部評価	—	
			2次評価	—				2次評価	A ごみの減量化・リサイクルの推進のため必要な事業であり、今後も更なる推進が必要。	
	14	消防 【施策の名称】消防組織体制の充実強化 【施策の内容】地域防災の要として住民の期待に応えるため、消防団との連携を密にし、多様化する各種災害に迅速に対応出来る消防組織体制の強化を図る。	1次評価	A 災害現場は、その現場毎で違うため、どの様な災害に対しても対処出来るように訓練を重ねている。	1	消防	【事務事業の名称】上川北部消防事務組合負担金 【事務事業の内容】市が上川北部消防事務組合と名寄消防署に要する費用を支出。	—	—	評価対象外／法律等により義務付け
			外部評価	—				外部評価	—	
			2次評価	—				2次評価	—	
	15	消防 【施策の名称】消防施設及び消防装備の整備 【施策の内容】複雑・多様化する各種災害に対応するため、消防・救急無線のデジタル化への移行も含めた消防施設の整備や消防車両等の計画的な更新に取り組む。	1次評価	A 計画どおりに更新が行われている。	1	消防	【事務事業の名称】風連地区消火栓更新事業 【事務事業の内容】火災発生時に地域住民の安全・安心の確保のために消火栓を更新。	—	—	評価対象外／維持補修的的事业
			外部評価	—				外部評価	—	
			2次評価	—				2次評価	—	
	16	総務部 【施策の名称】地域防災計画の推進 【施策の内容】名寄市地域防災計画に基づき、市民の防災意識の高揚、防災情報システムの整備、防災訓練の継続実施などの取組を推進し、全市民的な防災態勢の充実を図る。	1次評価	B 平成22年7月の豪雨災害においては、名寄市において初めての避難勧告を発令し、避難所で1夜を過ごした市民もあり、この災害の教訓から市の態勢や準備、備蓄等の拡充を図っているが、自主防災組織の充実や災害弱者の避難時の対処が課題となっている。	1	総務課	【事務事業の名称】土砂災害ハザードマップの作成。 【事務事業の内容】智恵文八幡地区の一部が土砂災害警戒区域に指定されたことにより、土砂災害ハザードマップを作成し安全な避難対策の実施により安全なまちづくりを推進する。	1次評価	A 平成23年度から意見の聴取により土砂災害警戒区域に地域の詳細をえて指定され、出前トーク及び訓練等で避難経路等周知してきた。	
			外部評価	—				外部評価	A 一次評価のとおり	
			2次評価	—				2次評価	A 市民の安全安心のために必要な事業であり、今後もさらなる周知を図っていく。	
外部評価			—	外部評価				—		
2次評価			—	2次評価				—		
外部評価			—	外部評価				—		
2次評価			—	2次評価				—		
外部評価			—	外部評価				—		
2次評価			—	2次評価				—		
外部評価			—	外部評価				—		
2次評価			—	2次評価				—		
17			市民部 【施策の名称】道路交通環境の整備 【施策の内容】市道全域で車両の通行及び冬期間の除雪作業等により、中央線の破損を状況により補修、改修等、また、安全標識の設置を行い、交通事故防止に向けた道路交通環境の整備を行う。	1次評価				A 交通安全確保のため、毎年計画的な処置を講じている。	1	環境生活課
	外部評価	—		外部評価	—					
	2次評価	—		2次評価	A 安全な交通環境のため、市としてできる限りの整備を行っており、今後も継続が必要。なお、町内会・安心会議などから信号機・横断歩道の設置について要望をさだめているが、設置については「公安委員会」の判断となる。今後も名寄市における交通環境の改善にむけた要請を展開していく必要がある。					
18	市民部 【施策の名称】冬期の交通安全の確保 【施策の内容】冬の交通安全運動啓発・教育活動	1次評価	A 交通安全の啓発には街頭啓発、広報活動を中心とした地道な活動が必要であり、継続した取り組みを進めている。また、年々運動への参加者が増えている。	1	環境生活課	【事務事業の名称】交通安全推進事業 【事務事業の内容】期別及び特別交通安全運動、市民交通安全の日、交通安全教室、パトライト作戦、交通安全モデル町内会の設置等。	1次評価	A 交通事故撲滅には、各関係機関・団体等の積極的な取り組みが必要であり今後も継続していかなければなりません。		
		外部評価	—				外部評価	A 一次評価のとおり		
		2次評価	—				2次評価	A 関係機関・団体・地域との役割分担による交通安全運動の推進が活発に行われており、今後も継続した取り組みが必要である。		
19	市民部 【施策の名称】安全対策 【施策の内容】幼児から高齢者が犯罪のない安全で安心な市民生活を目指し、関係期間・団体等との会議開催、「子ども110番の家」設置、青色回転灯装着車の設置、公用車での街頭パトロール、市のホームページに不審者情報掲載等を実施している。	1次評価	A 名寄市安全安心地域づくり推進協議会は年2回、安全安心円卓会議は年1回開催されているので、情報交換の場として有効である。	1	環境生活課	【事務事業の名称】生活安全推進事業 【事務事業の内容】幼児から高齢者が犯罪のない安全で安心な市民生活を目指し、関係期間・団体等との会議開催、「子ども110番の家」設置、青色回転灯装着車の設置、公用車での街頭パトロール、市のホームページに不審者情報掲載等を実施している。	1次評価	A 犯罪のない安全で安心な地域づくりを目指して情報交換、各団体への支援を継続して実施していかなければならない。		
		外部評価	—				外部評価	A 一次評価のとおり		
		2次評価	—				2次評価	A 市民の安全安心のため、継続した取り組みが必要。		

区分	No	施策の名称・内容	評価の区分	評価の内容	No	担当課	事務事業の名称・内容	評価の区分	評価の内容		
Ⅲ	20	建設水道部 【施策の名称】住宅マスタープランの策定及び推進 【施策の内容】市民が安心して快適に暮らすことができ、環境にやさしい住まいやまちをつくるため、平成19年度に策定した計画の見直しを行い、後期計画に反映させる。	1次評価	A	平成24年度に前期5カ年の計画の見直しを行い、後期5ヶ年における公営住宅や民間住宅における住宅セーフティネットの方向性について策定した。	1	建築課	【事務事業の名称】住宅マスタープランの見直し 【事務事業の内容】計画前期における社会情勢の変化、住宅政策の動向、名寄市における住宅・住環境に関する動向を踏まえ、今後取り組むべき課題の見直しを行う。	1次評価	A	住宅マスタープランは国の住生活基本計画や北海道住生活基本計画を上位計画として名寄市が策定するものであり、市の総合計画と整合を図りながら名寄市として住宅全般の施策を推進する上で必要な計画であることから見直しを行い後期計画に反映させるものです。
			外部評価	—	—				外部評価	—	—
			2次評価	—	豊かな住環境整備のため、適正なガイドラインを策定した。今後も計画に即した取り組みが必要。				2次評価	A	豊かな住環境整備のため、適正なガイドラインを策定した。今後も計画に即した取り組みが必要。
	21	建設水道部 【施策の名称】公園の管理・整備事業 【施策の内容】公園の維持管理とともに公園施設の更新をすすめている。	1次評価	B	公園の老朽化がすすんでいるため、規模の大きい公園から順次、遊具・施設の更新を行っているが、年間の事業費に比して、遊具施設にかかる費用が過大であり、理想どおりの施設更新がなされない。(遊具のグレードを落とす等)このため順調に推移しているが、Bと判断した。	1	都市整備課	【事務事業の名称】公園長寿命化修繕計画策定事業 【事務事業の内容】都市公園の整備、既存公園の長寿命化を推進し、安全で快適な都市環境の形成を目指す。	1次評価	A	都市公園の老朽化が進行しているため現状のまま継続するのが望ましい。
			外部評価	—	—				外部評価	—	—
			2次評価	—	遊具施設にかかる費用が過大であるが、計画的に遊具や施設の更新を行っている。				2次評価	A	適正な更新を進めている。
	22	建設水道部 【施策の名称】施設の整備 【施策の内容】生活環境の改善を目標に汚水・雨水管渠の整備を図り、持続可能な下水道を目指し、長寿命化支援制度による計画的な改築更新を実施します。また、下水処理場機器も整備・修繕し、延命を図る。	1次評価	A	年度毎の予定整備・修繕を実施している。	1	工務課	【事務事業の名称】公共下水道整備事業 【事務事業の内容】汚水・雨水管渠の整備及び処理施設の機能停止を未然に防止するため、長寿命化計画による改築更新を図る。	1次評価	A	下水道は、生活環境の改善、浸水被害の防止といった私たちの身近な生活環境改善を図るうえで必要不可欠で、合わせて公共用水域の保全に資する都市施設であり、市民の生活環境整備のため、持続可能な下水道の整備に努める。
			外部評価	—	一次評価のとおり				外部評価	A	名寄処理区の分流式への切り替えに努めることを期待して、1次評価のとおりとする。
			2次評価	—	計画的な整備・修繕を実施しており、今後も継続が必要。				2次評価	A	市民生活に必要な事業であり、今後も継続して整備を進める。
	23	建設水道部 【施策の名称】生活道路の整備 【施策の内容】市街地、郊外の道路整備、改修、排水整備を実施。	1次評価	B	道路整備は国庫補助事業(交付金)を頼りとしているため、国の方針に左右されやすく、要望に対しても減額される傾向にあるため整備率にも影響している。	1	都市整備課	【事務事業の名称】南10丁目西仲通 【事務事業の内容】市街地の砂利道や防塵処理道路を改良舗装することにより、人と車の空間を確保し、快適な都市環境の創造と基本的なインフラ整備を行う。	1次評価	A	国の方針で進捗状況は左右されるが、市民要望に応えるため事業完了に向け継続することが必要である。
			外部評価	—	国庫補助の活用を図りながらの整備であることにつき理解できることから、1次評価のとおりとする。				外部評価	A	一次評価のとおり
			2次評価	A	国の補助事業を活用し新規路線の整備を進めるとともに、市民の安全安心のため既存路線の維持補修を進めており、A評価とする。				2次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。
2			都市整備課	【事務事業の名称】豊栄西10条仲通 【事務事業の内容】市街地の砂利道や防塵処理道路を改良舗装することにより、人と車の空間を確保し、快適な都市環境の創造と基本的なインフラ整備を行う。	1次評価	A	国の方針で進捗状況は左右されたが、無事に事業が完了した。	外部評価	A	一次評価のとおり	
					2次評価	A	事業の実施により、市民の利便性向上や交通安全環境の改善が図られ	2次評価	A	事業の実施により、市民の利便性向上や交通安全環境の改善が図られ	
					1次評価	A	国の方針で進捗状況は左右されるが、市民要望に応えるため事業完了に向け継続することが必要である。	外部評価	A	一次評価のとおり	
3			都市整備課	【事務事業の名称】南11丁目東通 【事務事業の内容】市街地の砂利道や防塵処理道路を改良舗装することにより、人と車の空間を確保し、快適な都市環境の創造と基本的なインフラ整備を行う。	1次評価	A	国の方針で進捗状況は左右されるが、市民要望に応えるため事業完了に向け継続することが必要である。	外部評価	A	一次評価のとおり	
					2次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。	2次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。	
					1次評価	A	国の方針で進捗状況は左右されるが、市民要望に応えるため事業完了に向け継続することが必要である。	外部評価	A	一次評価のとおり	
4			都市整備課	【事務事業の名称】東1条通 【事務事業の内容】市街地の砂利道や防塵処理道路を改良舗装することにより、人と車の空間を確保し、快適な都市環境の創造と基本的なインフラ整備を行う。	1次評価	A	国の方針で進捗状況は左右されるが、市民要望に応えるため事業完了に向け継続することが必要である。	外部評価	A	一次評価のとおり	
					2次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。	2次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。	
					1次評価	A	国の方針で進捗状況は左右されるが、市民要望に応えるため事業完了に向け継続することが必要である。	外部評価	A	一次評価のとおり	
5	都市整備課	【事務事業の名称】市街地の道路整備(生活道路) 【事務事業の内容】市街地の砂利道、防塵処理道路を改良舗装する。	1次評価	A	国の方針で進捗状況は左右されるが、市民要望に応えるため事業完了に向け継続することが必要である。	外部評価	A	一次評価のとおり			
			2次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。	2次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。			
			1次評価	A	今後、予算獲得に多少不安は残るが、現在の進捗状況は順調であり、市民要望に応えるためにも事業を進めていきます。	外部評価	A	一次評価のとおり			
6	都市整備課	【事務事業の名称】郊外地の道路整備(生活道路) 【事務事業の内容】郊外地の砂利道、防塵処理道路を改良舗装する。	1次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。	外部評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。			
			2次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。	2次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。			
			1次評価	A	2次改築できない道路などの対応として必要とされており、市民要望に応えるためにも事業を進めていきます。	外部評価	A	一次評価のとおり			
7	都市整備課	【事務事業の名称】バリアフリーに優れたまちづくり事業 【事務事業の内容】凍上による歩道の部分的補修、道路排水不良個所の部分改修を行う。また、歩道縁石などの段差解消を図り、人にやさしい道路を提供する。	1次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。	外部評価	A	一次評価のとおり			
			2次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。	2次評価	A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。			
			1次評価	A	2次改築できない道路などの対応として必要とされており、市民要望に応えるためにも事業を進めていきます。	外部評価	A	一次評価のとおり			
8	都市整備課	【事務事業の名称】市道の排水整備事業 【事務事業の内容】市道に縦断管・雨水樹等を設置し浸水被害を解消する。	1次評価	A	災害を抑制するため、事業の継続が必要。	外部評価	A	一次評価のとおり			
			2次評価	A	災害を抑制するため、事業の継続が必要。	2次評価	A	災害を抑制するため、事業の継続が必要。			
			1次評価	A	災害防止、市民要望のためにも事業を進めていきます。	外部評価	A	一次評価のとおり			
9	都市整備課	【事務事業の名称】名寄演習場周辺障害防止対策事業 【事務事業の内容】市道に縦断管・側溝等を設置し浸水被害を解消する。	1次評価	A	災害を抑制するため、事業の継続が必要。	外部評価	A	一次評価のとおり			
			2次評価	A	災害を抑制するため、事業の継続が必要。	2次評価	A	災害を抑制するため、事業の継続が必要。			

区分	No	施策の名称・内容	評価の区分	評価の内容	No	担当課	事務事業の名称・内容	評価の区分	評価の内容		
Ⅲ	24	建設水道部 【施策の名称】市道の維持事業 【施策の内容】市道に対する道路の維持管理を進めて、道路環境の確保することを目的とする。	1次評価	A	今後も継続的に進めていく。	1	都市整備課 【事務事業の名称】市道防塵処理事業 【事務事業の内容】埃の少ない快適な生活環境の確保。	—	—	評価対象外／維持補修的事業	
			外部評価	—	—			—	—	—	—
			2次評価	—	道路・河川環境の維持のため、今後も継続が必要。			—	—	評価対象外／維持補修的事業	
	25	建設水道部 【施策の名称】市民と協働による雪対策の確立 【施策の内容】効率的・効果的な除排雪体制を確立し、市民の理解と協力を得ながら協働による雪対策を進める。	1次評価	B	自助・共助・公助のバランスが必要なので、今後はより一層見直しを進めていく。	1	都市整備課 【事務事業の名称】市道砂利散布事業 【事務事業の内容】砂利道の路面を防護し道路環境を良くする。	—	—	評価対象外／維持補修的事業	
			外部評価	—	一次評価のとおり			—	—	—	
			2次評価	—	市民、民間、行政が役割分担を果たしながら施策を展開しており、今後においては、大雪に備え、さらなる協働の推進が必要。			—	—	評価対象外／維持補修的事業	
			1次評価	B	高齢化に伴い作業の担い手が減少しつつある。また、名寄地区と風連地区とで作業方法の違いなどがあり、今後内容の見直しを進める。			1次評価	B	高齡化に伴い作業の担い手が減少しつつある。また、名寄地区と風連地区とで作業方法の違いなどがあり、今後内容の見直しを進める。	
			外部評価	—	—			外部評価	—	—	
	2次評価	B	各団体の協力により、道路・河川環境が良好に保たれており、今後も継続が必要。名寄地区と風連地区の公平性について検討を進めている。	2次評価	B	各団体の協力により、道路・河川環境が良好に保たれており、今後も継続が必要。名寄地区と風連地区の公平性について検討を進めている。					
	1	都市整備課 【事務事業の名称】排雪ダンプ助成事業 【事務事業の内容】市民の自己負担による排雪の助成。	1次評価	A	自助の面から考えると利用されている市民にとっては必要な事業であり、今後も助成金などの見直しも検討したい。	1	都市整備課 【事務事業の名称】排雪ダンプ助成事業 【事務事業の内容】市民の自己負担による排雪の助成。	1次評価	A	自助の面から考えると利用されている市民にとっては必要な事業であり、今後も助成金などの見直しも検討したい。	
外部評価			—	一次評価のとおり	外部評価			A	一次評価のとおり		
2次評価			A	冬季の快適な生活環境確保のために必要な事業であることから、今後も継続が必要。	2次評価			A	冬季の快適な生活環境確保のために必要な事業であることから、今後も継続が必要。		

区分	No	施策の名称・内容	評価の区分	評価の内容	No	担当課	事務事業の名称・内容	評価の区分	評価の内容		
IV	26	経済部 【施策の名称】環境と調和した農業の促進 【施策の内容】環境への影響軽減や安全・安心な農畜産物の生産のため、トレーサビリティやポジティブリスト制度の取組みと、化学肥料や農薬の使用を極力抑えるとともに、廃プラの適正処理やリサイクル利用、家畜ふん尿の有機物資源としての活用などを行っていく。	1次評価	A JA道北なよろをはじめとして、関係機関・団体で確実に実践している。	1	農務課	該当事業なし	-	-		
			外部評価	-						一次評価のとおり	
			2次評価	-						関係機関・団体とともに推進しており、今後も産地としての魅力向上のためにも必要な取り組みである。	
	27	経済部 【施策の名称】地場企業の支援・強化 【施策の内容】地場企業の育成と経営体質の強化に努めるとともに、既存企業の近代化、経営基盤強化のため各種制度を充実させ研修制度の活用を促進。	1次評価	B 工場等の新・増設件数は実績があるが、その他については活用されていない。	1	営業戦略課	該当事業なし	-	-		
			外部評価	-						1次評価のとおり。ただし、企業誘致のPR活動を改善するなどし、当制度が活用されるよう今後の動きに期待したい。	
			2次評価	-						地場企業の育成強化と企業誘致のために必要な事業であり、より活用しやすい制度への検討を進める。	
	28	経済部 【施策の名称】観光開発 【施策の内容】平成24年3月に名寄市観光振興計画を策定し、その計画に基づき「ALLなよろ」をコンセプトとした、名寄市観光振興交流協議会を設立し、ひまわり部会・交流部会・名寄ブランド部会・ホスピタリティ部会の4部会により各種事業を実施している。	1次評価	A 平成24年度より名寄市観光振興計画に基づき、名寄市観光交流振興協議会をはじめとした各種事業を計画・実施している。本年度においても、昨年度の反省点を修正しつつ事業を展開、また、新たな事業を実施している。	1	営業戦略課	【事務事業の名称】ピヤシリスキー場整備事業 【事務事業の内容】基本設備等の維持管理及び修繕・更新	-	-	評価対象外／維持補修的の事業	
			外部評価	-							一次評価のとおり
			2次評価	-							今後も名寄市観光振興計画に基づき、交流人口拡大の推進を図る。
	29	経済部 【施策の名称】観光誘致宣伝 【施策の内容】地域資源を活用し、地域と住民が主体となって、交流人口拡大の視点に立ったまちづくりを行い、来訪者を受け入れて地域経済の活性化に結びつけていく。また、住民自身が地域資源の価値を理解し、磨き上げ、誇りを持つことにより、来訪者が何度も訪れたいような活力あるまちづくりを目指すとともに、道内外へ向けて広く情報発信を行っていく。	1次評価	A 平成24年度より名寄市観光振興計画に基づき、名寄市観光交流振興協議会を始めたとした事業を展開、特にひまわり・ご当地グルメ・観光キャラクター等において効果的な誘致宣伝事業を実施している。	1	営業戦略課	該当事業なし	-	-	-	
			外部評価	-							-
			2次評価	-							名寄市観光振興計画に基づいた効果的な誘致宣伝事業を展開しており、今後においてもさらなる推進が必要。

区分	No	施策の名称・内容	評価の区分	評価の内容	No	担当課	事務事業の名称・内容	評価の区分	評価の内容		
V	30	教育部 [施策の名称]小学校との連携 [施策の内容]幼稚園から就学予定の小学校へ、小学校から幼稚園へ双方で情報交換を行い、教育内容・方法の相互理解や交流の機会を充実するとともに、小学校教育への円滑な接続・移行に努める。	1次評価	A 特別支援連携協議会では、学校関係者以外にも入会していただき、多角的なアドバイス等をいただき、子どもや保護者への不安の低減ができています。	1	子ども未来課	[事務事業の名称]幼稚園からのアプローチ [事務事業の内容]幼稚園と小学校間での情報共有を促進することにより、就学に向けてより円滑な接続・移行に努める。	1次評価	A 今後も継続の必要な事業である。		
			外部評価	— 一次評価のとおり				外部評価	A 一次評価のとおり		
			2次評価	— 児童の円滑な就学のため、必要な事業であり、今後も継続する必要がある。				2次評価	A 児童の円滑な就学のため、必要な事業であり、今後も継続する必要がある。		
	31	市立大学 [施策の名称]大学を活かしたまちづくりの推進 [施策の内容]大学において蓄積された教育・研究等の成果、情報資源や人材などの大学が保有する資源を地域社会の振興・発展のために活用し、地域や市民との交流を図り、大学を活かしたまちづくりを推進する。	1次評価	B ①図書館・講堂整備事業 平成24年度に図書館整備基本構想・基本計画を策定し、平成27年度の新図書館建設にむけおおむね順調に事業推移している。 ②地域交流センター活動推進事業 学内における共通認識等が未だ浅く、組織・機能が十分に機能していない。	1	市立大学	[事務事業の名称]図書館・講堂整備事業 [事務事業の内容]①学生の学習支援の充実と学術情報基盤の確立のため、大学図書館の機能充実を推進する。 ②大学において蓄積された教育・研究の成果等を図書館活動を通じて地域に還元する。 ③図書館棟・講堂の整備	1次評価	A 大学施設の本館と恵陵館の2か所にそれぞれ大学図書館本館と分館を設置しているが運営及び利用の面からも効率性・利便性に欠ける。これらの課題は新棟を整備することで解決が図られるものであり、運営事業による改善では限界がある。		
			外部評価	— 地域交流センターについて、地域に開かれた大学として、市民との交流を進めることを目指した当初の理念とはかけ離れた活動内容となっており、当初の理念に立ち返った活動が必要ではないか。				外部評価	A 図書館の整備にあたっては、整備により学生と市民の交流が拡大することが望ましい。		
			2次評価	— 地域交流センターの活動は、2011年度に実施された大学評価(認証評価)において評価されている。地域交流センターは、全教員と活動に賛同する個人・団体により組織され、その運営は教員、学生、市民の代表からなる運営委員会が行っている。数多くの市民要望に応え、学生の自主的活動を支援していくためには組織体制などについて課題が残るが計画の				2次評価	A 計画のとおり事業を継続・推進		
	32	健康福祉部 [施策の名称]地域における食育の推進 [施策の内容]地域における食育の推進においては、食に関わる各食育推進団体と連携を図り、一人ひとりが健康的な食生活の実践ができるよう、健康づくりの視点から食育の推進を図る。特に、妊娠から産後の栄養管理や乳幼児期の食生活を円滑に進めていけるよう、栄養・食に関する正しい情報を提供し、望ましい食習慣の土台作りを目指していく。	1次評価	A 妊娠期から乳幼児期を中心とした、正しい食習慣の土台づくりに向けた食育を推進するため、食育推進団体と連携を深め、事業の定着が図られている。また、実施回数の拡大と継続実施により指標が概ね達成されていることから順調と判断した。	1	健康福祉部	[事務事業の名称]食育に関わる教室 [事務事業の内容]一人ひとりが健康的な食生活の実践ができるよう、健康づくりの視点から食育の推進を図る。	1次評価	A 行政と食育推進団体との協働事業であり、地域に根ざした活動が展開できていることから、現状を継続させることが望ましいと考える。		
			外部評価	— 各教室とも平日の開催であるため、仕事で参加できない人もいる。土曜日開催等も検討してほしい。				外部評価	A 1次評価のとおり		
			2次評価	— 食育推進団体との協働により、地域に根ざした活動を展開しており、今後も対象者に合わせた取り組みが必要。				2次評価	A 食育推進団体との協働により、地域に根ざした活動を展開しており、今後も継続した取り組みが必要。		
	33	教育部 [施策の名称]スポーツ施設の整備 [施策の内容]スポーツ施設の整備と改修を計画的に行い、スポーツ活動を通じ相互の交流、健康維持ができるよう充実を図るとともに、名寄地区と風連地区の同様の施設について有効な活用方法を検討する。	1次評価	A 施設改修等について、計画とおり実施された。	1	生涯学習課	[事務事業の名称]名寄市テニスコート改修事業 [事務事業の内容]オムニコート人工芝張替及び観覧席改修。	—	— 評価対象外/維持補修的事業		
			外部評価	—				—	— 評価対象外/維持補修的事業		
			2次評価	— 今後も市民のスポーツ振興のため、計画的な施設改修を行うとともに、利用促進に努める。				3	生涯学習課(風連)	[事務事業の名称]風連東地区運動広場整備事業 [事務事業の内容]簡易パークゴルフ場の緑化及び散水設備整備。	1次評価
外部評価			—	外部評価							—
2次評価	—	2次評価	B 天塩川と名寄川のパークゴルフ場も含め、今後においても愛好会との協働による小規模整備を継続し、市民のスポーツ振興に努める。								
34	教育部 [施策の名称]文化大ホール整備 [施策の内容]文化大ホールの建設については、これまでに多くの市民や団体から、夢と期待を込めた寄附が寄せられ、これらを基金として積み立てている。これらの経緯や市民の熱意、さまざまな社会状況、財政状況などを考慮しながら、地域文化活動の拠点となる「市民ホール」の規模や機能、さらには施設運営方法、企画などについて検討を進める。	1次評価	A 基本設計、実施設計の完了	1	生涯学習課	[事務事業の名称](仮称)市民ホール建設事業 [事務事業の内容]地域文化活動の拠点として(仮称)市民ホールを建設し、地域文化の向上を図る。	1次評価	A 整備計画に基づき進捗している。			
		外部評価	— できるだけ早いオープンに向けて努力を。				外部評価	A できるだけ早いオープンに向けて努力を。			
		2次評価	— 市民意見をいただきながら計画を進めてきており、今後も文化拠点として整備を進めるとともに、企画などについて検討を進める。				2次評価	A 市民意見をいただきながら計画を進めてきており、今後も文化拠点として整備を進めるとともに、企画などについて検討を進める。			